

名取市関上での復興支援イベント ウォータープロジェクションマッピング「はるか 2020」開催レポート オンラインで全国各地へ配信

東日本大震災の復興機運の風化防止を目的に、2013年から毎年東北地方で開催しているプロジェクションマッピングイベント「はるか」。8回目を迎える本年は、宮城県との共催、復興庁・名取市などによる後援のもと、宮城県で初開催いたしました。

より多くの皆様に公演をお届けするために行った Twitter 上での拡散企画では、詳細クリックやいいね・リツイートなどを含むエンゲージメントが約 70 万にものぼり多くの注目をいただいております。残念ながら3月13日(土)の公演は荒天により中止となってしまったため、前日のプレスデーでの講演をオンライン配信いたしました。

配信動画はアーカイブとして視聴可能ですので、是非多くの方にご覧いただけたらと思っております。

配信に当たっては、宮城県/村井知事(共催)・名取市/山田市長(後援)・積水ハウス/阿部会長(特別協賛)からのメッセージもいただいております。

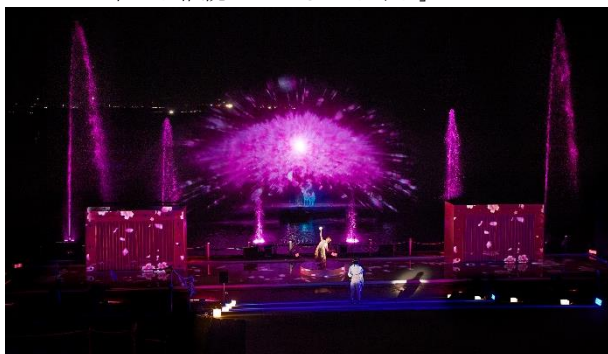
■公演の様子

配信 URL→「はるか 2020」公式 HP (<http://f-sakuraproject.sakura.ne.jp/2020/>)

会場・かわまちてらす関上



2013年から継続している「さくら」のモチーフ



主演・アオイヤマダさんのパフォーマンス



名取市の東日本大震災慰霊碑



慰霊碑をイメージした「希望の芽」




宮城県村井知事からのメッセージ



■概要

2019年にオープンした、かわまちてらす閑上（宮城県名取市）を舞台に、ある女の子の一夜の物語を、全国初の川でのウォータープロジェクションマッピングと弾き語りLIVE、そしてダンスパフォーマンスを組み合わせた、ファンタジックな演出で水辺を彩ります。



ウォータープロジェクションマッピング
はるか2020

夢のなかで待ち合わせ

—あらずじ—
これは、ある女の子がみた不思議な夢のおはなしです。
「今夜9時に、夢の中で待ち合わせね！」
こどもの頃に果たせなかったヘンテコな約束が、大人になつたある日、ふと甦ります。
懐かしい声に呼ばれた気がして一歩踏み出せば、そこは摩訶不思議な夢の世界。
声の主に導かれ、待ち合わせを巡る夢幻の冒険が始まります。

ウォータープロジェクションマッピング はるか2020
「夢のなかで待ち合わせ」



■視聴者から寄せられたコメント(あくまで1例)

- ・たくさんの支援で支えられ助けてもらいながらの10年。一言では伝えきれないほどの感謝。
- ・1日を大切に出来る範囲で皆様からの支援に恩返しできれば。
- ・東京にいるとあまり実感が湧かないが、定期的にこういったイベントがあることで振り返ることが出来る。
- ・(今後の10年は)なんとなく過ごさないようにしたい。自分の命はすぐに亡くなる可能性もある。
- ・東日本大震災の時は千葉に居て帰宅困難者となりホテルの階段で一夜を過ごしました。
しかしこの10年災害に対し特に何か行ったことは無く、何となく過ごしてきた気がします。

■宮城県知事(共催)・名取市長(後援)・積水ハウス阿部会長(特別協賛)からのビデオメッセージ

・宮城県村井知事



この映像を御覧の皆様、この度は「ウォータープロジェクションマッピングはるか2020」に御参加いただき、誠にありがとうございます。イベントの開催にあたり、一言挨拶を申し上げます。

東日本大震災の発生から、10年が経ちました。改めて震災で亡くなられた方々に深く追悼の意を表しますとともに、被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げます。

また、これまでの10年間、国内外を問わず、多くの方々から多大なる御支援をいただきましたことに、深く感謝を申し上げます。

さて、プロジェクションマッピング「はるか」は、震災の風化防止を目的として、平成25年から東北地方において開催されてきました。8回目となる今回は、宮城県で初の開催となります。

新型コロナウイルスの感染拡大により、昨年に予定されていた開催が延期されておりましたが、ウィズコロナにおける新しいイベントの在り方について関係者間で協議を重ね、このような形での開催に至りました。開催にあたりましては、協賛企業様はじめ、関係者の皆様に御理解と御協力を賜りました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

主催者の一員である我が県といたしましては、本イベントが、被災地に暮らす方々や復興のために御尽力いただいている方々に勇気を与え、未来に対して希望を抱く契機になってほしいと考えています。

また、震災後、我が県の復興に対して様々な御支援をいただいた国内外の皆様へ、感謝の気持ちと復興に向かって進む宮城・東北の姿を発信する機会となればと考えています。

4月からは国の「第2期復興・創生期間」に入ります。県では、被災者の心のケアやコミュニティの再生など、残された課題の解決に最優先で取り組むとともに、これまで積み上げてきた「創造的な復興」の取組をさらに進め、被災地の一日も早い復興と持続可能な地域づくりを目指し、引き続き全力を尽くしてまいります。

結びに、本イベントに御参加の皆様の御健勝と御発展を祈念しますとともに、復興の完遂に向けて、引き続き御理解と御協力をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

・名取市/山田市長



ウォータープロジェクトはるか2020をご覧の皆様、名取市長の山田です。

開催地を代表して、一言、ご挨拶を申し上げます。

このイベントは、miyagi さくらプロジェクト様が東日本大震災の記憶を風化させないという思いで開催され、その宮城県第一号の地に、名取市・閑上・かわまちてらすを選んでいただき、本当にありがとうございます。

閑上地区では当時5,000人を超す方が住んでいましたが、震災で壊滅的な被害を受けました。その後、日本中、そして世界中からたくさんのご支援をいただき、住まいの再建や、生活インフラの復旧など、昨年3月末で、おかげさまでハード面において「復興達成宣言」をさせていただきました。

一方で、被災者の心のケアや地域コミュニティの再生など、今後も息の長いソフト面での支援が必要になっております。こうした中で、このイベントは、被災した方々の心に寄り添う、復興に向かう人たちにエールを送る素晴らしい企画でございます。

是非、本日もこの映像を楽しんでいただき、そしてまた、宮城県・名取市・閑上に思いをはせていただき、いつの日か、是非訪れていただいて、ここに住んでいる方々と心の交流を深めていただけたらと思います。

・積水ハウス/阿部会長



積水ハウスの阿部でございます。

本日の「ウォータープロジェクトマッピングはるか2020」にお声がけいただきました村井知事、山田市長、そして開催準備にご尽力いただきました「かわまちてらす」の皆様にご感謝申し上げます。合わせまして当社の事業に多大なるご理解とご支援をいただいております当社、「家に帰れば積水ハウス。」のオーナー様にもこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

10年前の2011年3月11日午後2時46分、私は出張先の仙台で東日本大震災を経験しました。被災地3県には当社社員、協力工事店含め6,600名が従事しています。みんなで力を合わせ、地震直後、オーナー様や従業員の安否確認、支援物資の輸送などに奮闘したことを思い出しました。

それ以来、仮設住宅の建設工事に始まり、災害公営住宅の建設、地域に貢献したいという思いから雇用の創出とエネルギーの自給自足と電力供給を目指した日本初のスマートタウン「スマートコモンシティ明石台」や「東松島市スマート防災エコタウン」の開発などこの10年間、東北に心を寄せながら、一日も早い復興のため積水ハウスとして何が出来るかを考え、取り組んでまいりました。

震災から10年の節目を迎えたタイミングで、村井知事より今回のさくらプロジェクトのお話を伺いました。「復興機運を風化させない」「宮城県を元気づけたい」という村井知事の想いに共感し、特別協賛という形で参加させていただくこととなり、大変うれしく思います。

本日の「ウォータープロジェクトマッピングはるか2020」が、ご覧くださる皆様の明日への希望へと繋がることを願っています。

最後になりましたが、東北の明るい未来、そして皆様のご健康とご多幸をお祈り致しまして、ご挨拶に代えさせていただきます。

■Twitterでの拡散キャンペーン「#Before10After10」

あの日から10年。そして次の10年に向けて。2011年～2021年までに達成したこと、そして、2021年から2031年までの目標tweetといいね！を募集することとともに、本イベントのオンライン配信の拡散を行いました。

過去10年の復興の様子と、これまでさくらプロジェクトが実施してきたプロジェクションマッピングの映像を広告配信し、オンライン配信動画のご紹介を行ったところ、詳細クリックやいいね・リツイートなどを含むエンゲージメントは約70万にのびりました。

Twitter アカウント：@sakurapro_2020

固定されたツイート

 **さくらプロジェクト** 
@sakurapro_2020

あの日から10年。
皆さんはこの10年でどんな変化がありましたか？
10年で達成したこと、今後10年での目標を投稿すると
復興の想いを桜の花びらにした動画が作られます ✨

／
#ウォータープロジェクションマッピングはるか2020
が3月13日に開催 
当日の視聴はコチラ 
f-sakuraproject.sakura.ne.jp/2020/

＼

10年が経った。

0:03 / 0:18  

達成したことと今後の目標を教えてください

[Tweet #Before10After10](#)

■出演者紹介

アオイヤマダ



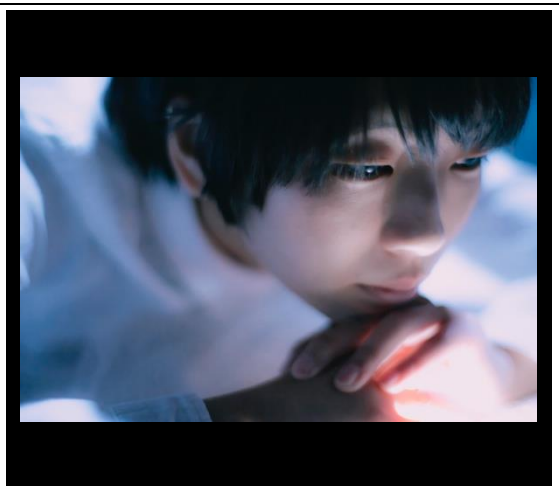
【プロフィール】

2000年6月24日生まれの20歳。長野県出身。地元の中学校卒業後、高校進学を機に上京し、ダンサーとしての活動を本格化。舞台「星の王子さま -サン=テグジュペリからの手紙-」（森山開次演出・振付）に王子役として出演。マルチメディアパフォーマンス集団ダムタイプの18年ぶりとなる新作パフォーマンス「2020」出演。米津玄師、Nulbarich、DAOKO や夏木マリなど名だたるアーティストのMVに参加する。2019年の紅白歌合戦（NHK）ではMISIAのダンサーとして出演。

「フレッド ペリー」のワールドキャンペーン、ラフォーレ原宿の広告ビジュアルやスイスで行われた Basel world2018, 2019 ではCITIZENのプレゼンテーションとしてパフォーマンスを行った。

2021年3月26日から配信されるWOWOWドラマ『FM999』（長久允監督）に“ミラーボールの女”として出演する。

さのめいみ



【プロフィール】

1998年山梨県のほとんど静岡寄りで生まれる。23歳。東京の大学に進学してから人前で歌うことに目覚める。ピアノ弾き語りを中心としたシンガーソングライター。通称：サノメ

描く歌詞は独特のものがあ、楽曲も切なさや希望が入り混じったPOPSとして、高いスタンダード性を持っている。2017年 Shibuya eggman、2020.01 Shibuya duo MUSIC EXCHANGE、2020.09 Shibuya WWW Xでのワンマンを行う。

現在は、配信を中心に活動中。

<HP> <https://sanomeimi.jimdofree.com>

<MV> 「ライト」 <https://www.youtube.com/watch?v=9NiQSiA6iVU>

「日々」 <https://www.youtube.com/watch?v=Tu9HQHfCGaw>

はくいひかる



【プロフィール】

2011年兵庫県神戸市で生まれる。（生後1ヶ月の時東日本大震災を経験）4歳でダンスに出会い HIPHOP JAZZ の他、バレエなどのレッスンにも通い始める。7歳の時、高村月先生の emotional dance に影響を受け、型にはまらない踊り、自由に表現する楽しさを教わり更にダンスの幅を広げた。チーム NUR(ぬーる)では、スーパーキッズダンスコンテスト U15 チーム部門関西予選優勝、スーパーキッズダンスコンテスト 2020 ファイナル U15 チーム部門 4位。ソロでは、TOP OF THE DANCE コンテスト U12 ソロ部門準優勝、GRANDSOUL コンテスト BIRTHDAY U12 ソロ部門優勝。現在、自分で振付した作品でコンテストにも挑戦している

その他の出演者

菊地陽哉、西垣沙綾、佐藤千夏、菅原千愛、小川内桜、大久凜花、佐藤心美、大久保愛結

演奏

- ・清野雄翔(Pf)
- ・富田千晴(Vc)
- ・島内晶子(Vl)

■監督紹介

上嶋萌 (株式会社NHK エンタープライズ)

演出家/クリエイティブディレクター

1990年生まれ。2013年NHKエンタープライズ入社。

プロジェクトマッピング、高精細空間映像、インタラクティブコンテンツ、体験型展示などの企画演出を行う。六本木アートナイト「イマーシブシアター #透明人間」で街回遊型演劇を行うなど、物語＋映像テクノロジー＋空間を用いたエモーショナルな体験づくりを行っている。

8K×3D×interactive「カナシミの国のアリス」でグッドプラクティス・アワード受賞。

資生堂 GIC・16K「Museum of Red」でルミエール・ジャパン・アワード特別賞受賞。

■クリエイター紹介

- ・映像制作 稲葉 秀樹
- ・セットデザイン 遠藤 歩
- ・衣装デザイン 酒井 タケル
- ・ヘアメイク 橘 房図
- ・プロデューサー 片桐 耕平 (株式会社NHK エンタープライズ)

<参考：開催概要>

- ・開催日時：2021年3月12日(金) プレスデー
2021年3月13日(土) 閑上地域の皆様向け公演・オンライン配信
※荒天により中止。オンライン配信はプレスデーの公演を配信
- ・開催地：「かわまちてらす閑上」
宮城県名取市閑上1丁目 (E-65 街区1画地)
- ・主催：桜プロジェクト株式会社
- ・共催：宮城県
- ・後援：名取市、復興庁、仙台商工会議所、国土交通省東北地方整備局 仙台海川国道事務所
- ・企画制作：株式会社NHK エンタープライズ
- ・イベントページ：<http://f-sakuraproject.sakura.ne.jp/2020/>
- ・問合せ先：桜プロジェクト株式会社 電話：070-1317-9940
メール：info@f-sakuraproject.sakura.ne.jp